

参道を疾走 流鏑馬神事

鹿島神宮

鹿嶋市宮中の鹿島神宮で1日、天下太平などを願う伝統の流鏑馬神事が行われた。奥参道を疾走する和種の馬

から射手が的をめがけて矢を放つ勇壮な演武に、大勢の参拝客らが息をのみ感嘆した。同神事は毎年5月1

日にあり、五穀豊穡を祈念した御田植祭の後、に執り行う恒例行事。巨木に囲まれた奥参道に特設馬場がつくられ、武官の装束に身を包んだ倭式騎馬会（東京）の射手6人が、三つの的に狙いを定め弓を引く人馬一体の妙技

を次々に披露した。千葉県成田市の山本眞信さん(70)は「めったに見られない。迫力、スピード感がすごかった」と驚いた様子で話した。（小林久隆）



馬上から矢を放つ射手＝鹿嶋市宮中、村田知宏撮影